

平成22年度京都大学エネルギー理工学研究所  
第1回ヘリオトロンJ双方向型共同研究委員会議事録

日時：平成22年6月16日（水）午後3時～4時30分

場所：エネルギー理工学研究所 北4号棟4階 大会議室

出席者：武藤、岡村、政宗、福田、村上、西野、中嶋、佐野、岡田

欠席者：北島、水内、長崎

議事に先立ち、配布資料の確認が行われた。

#### 議事

##### 1. 平成21年度第2回委員会議事録案の確認

岡田幹事から資料1に基づき前回議事録案の確認があり、異議無く承認された。

なお、武藤委員長より資料3の委員名簿について、平成22年度の核融合科学研究所の改組により、武藤、岡村両名の所属がヘリカル研究部となったので修正を要請された。

##### 2. 核融合科学研究所双方向型共同研究委員会の動向と今後の展開

佐野副委員長より、資料4に基づき、先立って開催された核融合研の双方向型研究委員会において提案された内容について説明の後、本学に対しての提案について議論された。

##### 3. 平成22年度ヘリオトロンJ実験計画について

岡田幹事より、資料5に基づき今年度の実験計画について説明された。実験課題については再度内部で詳細調整を行うこと、来年2、3月に装置の更新及び設置作業予定があるため例年より実験期間が短くなっていることが確認された。

また、今後上記議事（2）の計画履行がある場合には、それに基づいた実験計画を再考する必要があることが確認された。

##### 4. 平成22年度双方向型共同研究予算執行について

岡田幹事より採択課題およびその予算について資料6を用いて説明があった。論文作成の経費は、双方向型予算には含まれないことが確認された。

##### 5. その他

佐野副委員長より2010年版『京都大学エネルギー理工学研究所概要』『パンフレット』の説明がされた。

以上

議案 2) について

各センターが個別テーマについて取り組む＝分担課題

京都大学

1つの共通課題に向かって成果を挙げる努力をする。

定常ヘリカル型原型炉の設計

(提案)

京大と筑波大と共同連携の構築

意見

- キーワードだけ共通にするのではなく、**EBW** に対しさらに具体的な課題をつきつめていく『何が足りなくて何にアタックするべきか。』
- 双方型特別研究員制度を設けて人材育成を図る。  
ドクター＋ポスドク